

1996年生体運動合同班会議のご案内

合同班会議のプログラムをお送り致します。間違いがありましたら、至急お知らせ下さい。
世話人 神谷 律

研究発表

日時：1月6日(土) - 1月8日(月)
会場：ティアラ江東(江東公会堂)大会議室
参加費：会議受付の際にいただきます。
一般参加者：2000円, 学生：1000円

班員、班友による会議

日時：1月7日(日) 12:10 - 13:00
会場：ティアラ江東中会議室 (弁当を用意致します)

懇親会

日時：1月7日(日) 18:30 -
会場：ティアラ江東中会議室
会費：一般 6000円, 学生 4000円

発表に関して

1. 昨年と同様、発表は10分(講演7分, 討論3分)です。時間厳守をお願いします。
2. スライドプロジェクター, OHP, ビデオ(VHS)を用意します。ビデオをご使用の方は、スライド受付時にお申し出下さい。
3. 発表される方は、次の講演の司会をお願いします。

連絡先

113 東京都文京区本郷7丁目
東京大学理学部動物
神谷 律
電話、ファックス(兼用, 直通) 03-5800-6842
e-mail: kamiyar@tansci.cc.u-tokyo.ac.jp

会場案内

ティアラ江東(江東公会堂)
電話：03-3635-5500
住所：東京都江東区住吉2-28-36

行き方A

- 1) 東京駅でJR総武線快速に乗り換え
- 2) 総武線馬喰町駅より都営地下鉄新宿線・馬喰横山駅に乗り換え
- 3) 都営新宿線で住吉駅下車, A4出口で地上に出て徒歩5分

行き方B

- 1) JR総武線・錦糸町駅で下車
- 2) 東22(東陽町行または東京駅北口行)または
錦11(築地行)のバスに乗り、住吉駅前下車
- 3) 新大橋通りを東へ徒歩5分

行き方C

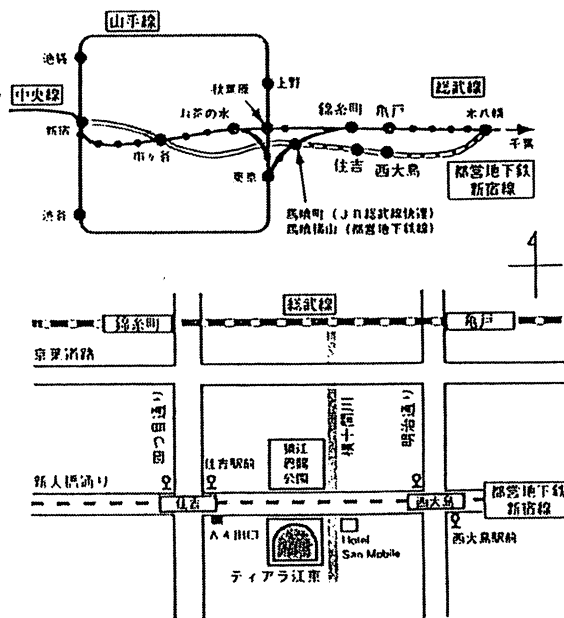
- 1) JR総武線・亀戸駅で下車
- 2) 亀29(なぎさニュータウン行)のバスに乗り、
西大島駅前下車
- 3) 新大橋通りを西に歩き徒歩7分

行き方D

錦糸町駅もしくは亀戸駅よりタクシーで5~10分

図中のホテル「San Mobilc(サンモビル)」(電話：03-3638-8080)では、生体運動合同班会議に参加する旨を伝えると、料金が2割引(シングル：税込7200円)になるそうです。

担当 佐々木



1996年 生体運動合同班会議

プログラム

1月6日 (土)

- 001 12:30-12:40 運動トレーニングにより誘起されるラット脚筋LDHの分子構成の変動とその合目的性
○山口正弘¹、武田和子¹、柴佳保里¹、加納和孝²、亀山恒夫³ (¹順天堂大・スポーツ健康・栄養生化、³医・生化、²東大・医・栄養)
- 002 12:40-12:50 トリ筋胃平滑筋ミオシンS1の³¹P NMR測定
○鈴木良和¹、田之倉優¹、江橋節郎² (¹東大・生物工学センター、²生理研)
- 003 12:50-13:00 骨格筋および心筋単一ミオフィブリンの収縮特性
○由利希良、寺本直弘、山田武範 (東京理科大・理・物理)
- 004 13:00-13:10 ラット速筋と遅筋のフィラメント格子の違い
○八木直人¹、竹森重²、堀内桂輔³ (¹東北大・医・薬理、²慈恵医大・生理、³大分医大・生理)
- 005 13:10-13:20 筋ジストロフィーの新しい原因タンパク質 β -サルコグリカン
○吉田幹晴、野口悟、水野裕司、小沢鉄二郎 (国立精神・神経セ、神経研)
- 006 13:20-13:30 筋ジストロフィーの新しい原因タンパク質 γ -サルコグリカン
○野口悟、萩原康子、水野裕司、吉田幹晴、莖中征哉、小沢鉄二郎 (国立精神・神経セ、神経研)
- 007 13:30-13:40 筋ジストロフィー症 d γ マウス：骨成長依存性筋成長障害と皺む？筋核
戸塚 武 (愛知県コロニー・研・筋生理)
- 008 13:40-13:50 カルボニトランスジェニックラットの作成
○高橋克仁、三木晶子、高木理子、柴田宣彦 (大阪府立成人病セ)
- 009 13:50-14:00 ヒトh2型カルボニン：mRNA上にAlu型transposable elementをもち、細胞間接着部位に局在する新しいカルボニンアイソフォーム
○増田浩明、柴田宣彦、高橋克仁 (大阪府立成人病セ)
- 010 14:00-14:10 冠動脈収縮機構とカルボニンのリン酸化・脱リン酸化反応
○中充子、湯浅右人、三野照正、田中利男 (三重大・医・薬理)
- 011 14:10-14:20 骨格筋Ca²⁺遊離チャネルの活性化・不活性化に関するSH残基
○大羽利治、越田 信 (名市大・医・第一生理)
- 012 14:20-14:30 哺乳類中枢神経系における脳型リアノジン受容体の性質の検討
○村山 尚、小川靖男 (順天堂大・医・薬理)
- 013 14:30-14:40 リアノジン受容体およびIP₃受容体は小胞体のカルシウム含量により制御される
前田加穂理、○黒田英世、黒田 律 (富山大・理・生物、生物圏環境)
- 014 14:40-14:50 C. エレガンスの筋蛋白質 (リアノジン受容体、トロポミオン、トロポニンC) 遺伝子の構造と突然変異体の性質
香川弘昭 (岡山大・理)
- 015 14:50-15:00 カルモジュリンのCa²⁺結合と酵素活性化
中島謙一、○矢沢道生 (北大・理・化学)

15:00-15:20 休憩

- 016 15:20-15:30 ショウジョウバエのミオシン軽鎖キナーゼアイソフォームの構造と機能
○孤嶋慎一郎¹、三嶋将紀²、馬淵一誠²、堀田凱樹¹ (¹東大・理・物理、²東大・教養・生物)
- 017 15:30-15:40 ウニ卵のミオシン軽鎖キナーゼ (MLCK)
○十津川剛、小松訓、村井則雄、濱生創、細谷浩史 (広島大・理・原生生物)

- 018 15:40-15:50 平滑筋ミオシン軽鎖の役割
○加藤剛志、盛田フミ (北大・院理・化学)
- 019 15:50-16:00 大動脈平滑筋ミオシン軽鎖ホスファターゼの阻害蛋白質
○江藤真澄、盛田フミ (北大・院理・化学)
- 020 16:00-16:10 ブタ大動脈平滑筋ミオシンIの特徴と性質
○長谷川靖¹、津脇志保¹、菊田智昭¹、片山栄作²、岡本洋¹ (¹室工大・工・応化・生物工学、²東大・医科研・微細形態)
- 021 16:10-16:20 必須軽鎖の異なるブタ大動脈平滑筋ミオシンの局在
○竹内喜久子¹、仙葉慎吾²、古川賢一³、盛田フミ² (¹大阪府立看大、²北大・理、³東北大・薬学)
- 022 16:20-16:30 平滑筋ヘビメロミオシンの人工変異
○尾西裕文¹、Manuel F. Morales²、加藤一夫¹、藤原敬己¹ (¹国立循環器病センター・研・形態、²Univ. of the Pacific)
- 023 16:30-16:40 ニワトリ骨格筋コネクチンのN端部 14 kb の配列
○矢島浩彦¹、大塚裕司¹、川村勇樹²、久米秀明¹、木村澄子¹、丸山工作¹ (¹千葉大・理・生物、²生理研・神経化学)
- 024 16:40-16:50 過剰のプロテアーゼ阻害剤によるコネクチンフィラメントの変質
○辰巳隆一、高橋興成 (北大・農・畜産)
- 025 16:50-17:00 限定分解により得られたネブリンサブフラグメントの性質
○黒田正明、吉田おりえ、佐々木正和 (島根大・生科・生物)
- 026 17:00-17:10 大腸菌組み換えDNAによるコイ・レメロミオシンの遺伝子発現とその性状
○柿沼 誠、船原大輔、平山 泰、中谷操子、渡部終五 (東大・院農・水圏生物)
- 027 17:10-17:20 テトラカイン (局所麻酔薬) によるアクチンフィラメントの多様な *in vitro* 形態変化
○加世田国与士¹、片山栄作²、小松英幸¹、児玉孝雄¹ (¹九工大・情報工、²東大・医科研)
- 028 17:20-17:30 F-アクチン溶液の相図：F-アクチン集合構造多形態性の物理的基礎
○伊藤忠直 (京大・院理・生物物理)
- 029 17:30-17:40 平滑筋デンスブラークに局在する新しいフィラミン関連タンパク質
○大橋一世、立川雅司 (千葉大・理・生物)
- 030 17:40-17:50 脳ファシンの解析
○石川良樹、佐々木洋、林謙介、白尾智明、小浜一弘 (群馬大・医・薬理、同・行動分析)
- 031 17:50-18:00 機械的な刺激 (ストレッチング) に依存した培養平滑筋細胞の配向
早川公英、細川淳嗣、佐藤成樹、○大日方昂 (千葉大・理・生物)
- 032 18:00-18:10 相同なアクチン調節蛋白質コフィリン・デストリンは異なる基盤構造を持つ
○今中見名子、小谷 享 (九州工大・情工・生化)
- 033 18:10-18:20 *Xenopus* 初期発生におけるコフィリンの役割
○阿部洋志、大日方昂、Minamide, L. S., Bamberg, J. R. (千葉大・理・生物)
- 034 18:20-18:30 リン酸化部位を改変されたコフィリンの細胞内での挙動
○長岡利栄、阿部洋志、大日方昂 (千葉大・理・生物)
- 035 18:30-18:40 メタノールは筋収縮制御系を弛緩状態にトラップする
○松浦能行、佐伯喜美子、若林健之 (東大・理・物理)
- 036 18:40-18:50 新しい2種類の鶏心筋ミオシン重鎖遺伝子の発達における発現様式
○町田修一¹、小穴慎二¹、平塚江里子¹、古谷喜幸¹、高尾篤良¹、門間和夫¹、松岡瑠美子¹、眞崎知生² (¹東京女子医科大学循環器小児科、²京都大学医学部薬理学)
- 037 18:50-19:00 アクチン繊維横方向ゆらぎの繊維軸方向相関
○羽鳥晋由、本多元、松野孝一郎 (長岡技大・生物)
- 038 19:00-19:10 骨格筋の収縮調節の分子機構
○本多元、羽鳥晋由、松野孝一郎 (長岡技大・生物)
- 039 19:10-19:20 極性がランダムな actin の bundle が HMM と ATP の存在下で縮む機構
○関本謙¹、中沢初美² (¹京大・基研、²名大・応物)

- 040 19:20-19:30 低イオン強度緩衝液中のアクチンの希釈による密度の変化
○一海孝光¹、近藤博司² (1愛知県立芸大、2名大・理・分子生物)
- ~~041~~ 19:30-19:40 G-アクチン溶液を低イオン強度の緩衝液で薄めたときに生じるアクチン繊維—その
蛍光顕微鏡による観察
○嶋田勝彦¹、一海孝光²、近藤博司³ (1名古屋市立女短大、2愛知県立芸大、3名大・
理・分子生物)

1月7日 (日)

- 042 9:00-9:10 プロトプラストの電気融合：三次元観察
○谷口美恵子¹、鈴木直哉¹、有井達夫² (1名大・理・物理、2生理研)
- 043 9:10-9:20 赤芽球脱核過程におけるアクチンおよびミオシンの局在の変化
○大室弘美¹、向田政博²、森岡清和³ (1東大・医・薬理、2防衛医大・法医、3都臨床
研・腫瘍生化)
- 044 9:20-9:30 HIV (エイズウイルス) 新生におけるミオシン、アクチンの役割
佐々木博元¹、唐木英明²、○野々村禎昭³ (1慈恵医大、2東大・農、3帝京大・医)
- 045 9:30-9:40 培養ヒト線維芽細胞におけるstress fiberと細胞膜結合様式の多様性
○加藤一夫、狩野由美子、増田道隆、藤原敬己 (国循セ研・形態部)
- 046 9:40-9:50 ERM蛋白質に結合する膜蛋白質
○米村重信¹、平尾素宏¹、佐藤成樹²、月田早智子³、月田承一郎¹ (1京大・院医・分
子細胞情報、2千葉大・理・生物、3京大・医療短大)
- 047 9:50-10:00 培養筋細胞の分化に伴うストレスタンパク質 α B-クリスタリンの局在の変化と細胞骨
格
○跡見順子、新井秀明、篠塚時人 (東大・院総合文化・生命環境)
- 048 10:00-10:10 培養細胞の細胞質分裂に及ぼす海綿由来の生物活性物質の影響
○和田俊一¹、田中英臣¹、渡部終五¹、松永茂樹¹、伏谷伸宏¹、斎藤真也²、唐木英明²
(1東大・院農・水圏生物、2東大・院農・獣医)
- 049 10:10-10:20 ウニ卵の新しいF-アクチン結合タンパク質の探索
○寺崎朝子¹、大沼雅明²、馬淵一誠¹ (1東大院・総文・広域・生命、2久留米大・分子
生命研)
- 050 10:20-10:30 ウニ卵分裂溝に存在するEF-1タンパク質
○藤本宏隆、馬淵一誠 (東大院・総文・広域・生命)

10:30-10:40 休憩

- 051 10:40-10:50 ウニ卵トロポミオシン・アイソフォームのアクチン結合性について
○飛田孝行¹、高城 忠² (1筑波大・生物、2東学大・生物)
- 052 10:50-11:00 再活性化したウニ精子鞭毛におけるカルシウムの作用：微小管の滑り速度と波形の非
対称性
○吉村美幸子¹、真行寺千佳子²、高橋景一¹ (1ICU・生物、2東大・院理・生物)
- 053 11:00-11:10 プロテアソームによる精子鞭毛運動の制御
○大川浩作、稲葉一男、森沢正昭 (東大・理・臨海)
- 054 11:10-11:20 ダイニン・モータによる鞭毛軸糸の高速微小振動：非線形動力学解析
今福泰浩¹、上村慎治²、○太和田勝久³ (1九大・医・分子生命、2東大・教養・生物、
3九大・理・生物)
- 055 11:20-11:30 ミュータントNCDモータによる微小管の一次元的ランダム運動：非線形動力学解析
○今福泰浩¹、豊島陽子²、太和田勝久³ (1九大・医・分子生命、2東大・教養、3九大・
理・生物)
- 056 11:30-11:40 粘菌変形体を走るカルシウムの波
○石上三雄 (滋賀大・教育・生物)

配向したmicrotubuleで走らせた。videoをみる。


- 057 11:40-11:50 子宮平滑筋組織内での律動的細胞内Ca²⁺上昇の可視化
○笠井靖代、山澤徳志子、飯野正光 (東大・医・薬理)

11:50-13:00 **昼食** (班員による会議)

- 058 13:00-13:10 筋肉収縮調節蛋白質トロポニンTのアイソフォームの機能についての研究
○宮崎淳一¹、Lawrence B. Smillie²、平林民雄¹ (1筑波大・生物、2アルバータ大・生化学)
- 059 13:10-13:20 新しい筋肉タンパク質 (ミオモジュリン) の生化学的性質と筋収縮制御に及ぼす機能
矢沢洋一 (道教大・旭川校) *~230kD, myosin の近くにある.*
- 060 13:20-13:30 アカザラガイTnCの単一Ca²⁺結合部位 (第IV部位) 点変異体のCa²⁺調節能
○尾島孝男、西川真史、西田清義 (北大・水産・機能生化)
- 061 13:30-13:40 原索動物トロポニンCの遺伝子解析
○湯浅 創、高木 尚 (東北大・院理・生物)
- 062 13:40-13:50 トロポニン複合体のX線結晶構造解析に向けての試み
○武田壮一^{1,2}、西條由見子²、小林智芳²、前田佳代²、前田雄一郎² (1名大・理・生物、2松下国際研)
- 063 13:50-14:00 Beによる蛋白質調製 (平滑筋制御因子に関して)
江橋節郎 (生理研)
- 064 14:00-14:10 変異Tm(Ser-87-Cys, Cys-190-Ile)をつかったThin filamentの蛍光エネルギー移動測定
○木村裕之¹、佐野健一²、前田雄一郎¹、三木正雄¹ (1福井大工、2松下電器国際研)
- 065 14:10-14:20 アクチンフィラメントのねじれ剛性の直接測定
○安田涼平、宮田英威、木下一彦 (慶大、理工、物理)
- 066 14:20-14:30 アクチン・ゾルの fibre diffraction
○小田俊郎、牧野浩司、難波啓一、山下一郎、前田雄一郎 (松下国際研)
- 067 14:30-14:40 クライオ電子顕微鏡法で解かれたアクチンフィラメント中のアクチンとX線結晶解析による原子座標との比較
○安永卓生、若林健之 (東大・理・物理)
- 068 14:40-14:50 アクトS1複合体モノマーのX線溶液構造解析
○荒田敏昭¹、岩崎典生²、武澤康範²、杉本泰伸²、浜中俊明²、若林克三² (1阪大・理、2阪大・基礎工)
- 069 14:50-15:00 ミオシン頭部AB特異的抗体によるミオシンフィラメントの溶解
村井 晋、荒田敏昭、○井上明男 (阪大・理・生物)

15:00-15:20 **休憩**

- 070 15:20-15:30 心筋のクロスブリッジ解離rateに関するprotein kinase Aの効果
○小林孝和¹、三枝木泰丈²、南沢 享²、杉 晴夫¹ (1帝京大・医・生理、2鶴見大・歯・生理)
- 071 15:30-15:40 蛍光性ATPを用いた短縮中の筋原線維内ATP分解kineticsの解析
○茶園 茂¹、白川伊吹¹、Clive R. Bagshaw²、杉 晴夫¹ (1帝京大・医・生理、2Leicester大・生化) *REDA-ATP, Caged ATP + hv で chase する.*
- 072 15:40-15:50 ATP光遊離による筋線維の過渡応答とアクティブサイトの構造変化にたいするイオン強度の影響
○藤田 卓、香川浩一、縄田智子、山田和廣 (大分医大・医・生理)
- 073 15:50-16:00 ミオシンS1分子のATP分解サイクル中の脱水和について—疎水基のまわりの水和特性解析から—
○重松順司¹、鈴木 誠²、児玉孝雄¹ (1九州工大、2工技院融合研)

- 074 16:00-16:10 ミオシンATPaseの研究に有用な新規蛍光標識ATPの開発
平塚寿章 (旭川医大・化学) NBD-ATP S1のくっつきと蛍光強度が上がる。
- 075 16:10-16:20 Sulfoindocyanine系蛍光色素を用いた蛍光性ATPアナログの合成とin vitro運動アッセイ系への応用
○大岩和弘、J.Eccleston、J.Corrice、M.Anson、山田章、D.Trentham、中山治人 (通総研、NIMR)
- 076 16:20-16:30 細胞性粘菌ミオシンモータドメインの構造変化
○須藤和夫¹、Ivan Rayment² (¹東大・教養、²Univ. Wisconsin)
- 077 16:30-16:40 原子間力顕微鏡によるアクトミオシン系の1分子力学計測
○中島秀郎、国岡由紀、安藤敏夫 (金沢大・理・物理)
- 078 16:40-16:50 Requirement of a specific tail domain for the regulation of *Dictyostelium* myosin by regulatory light chain phosphorylation.
○Liu Xiong、上田太郎 (工技院融合研)  charge 1/2, 醒る。
- 079 16:50-17:00 アクチン滑り運動におけるS2の必要性
○伊藤光二¹、劉熊²、上田太郎² (¹NEDO、²工技院、融合研) S2のNBD 1/3
- 080 17:00-17:10 A帯中における単一アクチンフィラメントの滑り力の顕微計測
○伊賀隆志、西坂崇之、石渡信一 (早大・理工・物理)
- 081 17:10-17:20 アクトミオシン分子モーターの機能と力学特性の一分子顕微解析
○西坂崇之¹、宮田英威²、木下一彦²、石渡信一¹ (¹早大・理工・物理、²慶大・理工・物理)
- 082 17:20-17:30 滑り運動するアクチンの先端と後端のゆらぎ
○御橋廣真、下理恵子、四方義啓 (名大大学院・多元数理科学)
- 083 17:30-17:40 単頭ミオシン一分子の力と変位の方向依存性
○本田誠、田中裕人、石島秋彦、柳田敏雄 (新技団・柳田プロジェクト)
- 084 17:40-17:50 サブピコニュートン感度を持つプローブ顕微鏡の開発
○廣島通夫、青木高明、喜多村和郎、徳永万喜洋、柳田敏雄 (阪大・基礎工・生物工学)
- 085 17:50-18:00 一分子力学、一分子酵素反応
柳田敏雄 (新技団)

18:30- 懇親会

1月8日 (月)

- 086 9:00-9:10 渦鞭毛虫ハダカフタヒゲムシの染色体
○佐藤英美、加藤宏一 (名大名誉教授、名市大・生物)
- 087 9:10-9:20 微小管のプラス端伸長におけるGDPの影響
○田中陽子、伊藤知彦、宝谷紘一 (名大・理・分子生物)
- 088 9:20-9:30 微小管プロトフィラメント数の安定性に対する影響
○丹羽昭夫、伊藤知彦、宝谷紘一 (名大・理・分子生物)
- 089 9:30-9:40 神経突起形成過程における安定重合型微小管の解析
○関本澄人、田代朋子、小宮義璋 (群馬大・医・分子病態)
- 090 9:40-9:50 ncdとkinesinのモータドメインのCDスペクトルによる比較
○清水 隆^{1,2}、森井尚之¹ (¹工技院・生命研、²工技院・融合研)
- 091 9:50-10:00 卵に由来する中心体による星状体と分裂溝の形成
○佐伯知明、浜口幸久 (東工大・理・生物)
- 092 10:00-10:10 テトラヒメナの分裂面決定に関わる蛋白質p85のcDNAのクローニングとシークエンス
○権田幸祐、沼田治 (筑波大・生物科学)

- 093 10:10-10:20 真正粘菌フィザルム・アメーバ細胞の走化性における核の移動の機構
○上田昌宏、萩原 哲 (阪大・理・生物)
- 094 10:20-10:30 アクチン繊維依存的な後部半球の収縮はボルボックス胚のinversionに必須である
○西井一郎、萩原 哲 (阪大・理・生物)

10:30-10:40 休憩

- 095 10:40-10:50 テトラヒメナEF-1 α によるアクチン繊維の束化はCa²⁺/カルモデュリンで制御されている
○倉沢靖博¹、沼田 治¹、渡辺良雄² (¹筑波大・生物科学, ²上武大)
- 096 10:50-11:00 マイクロフィラメント束の配列安定化機構
柳 政和、高木慎吾、○永井玲子 (阪大・理・生物)
- 097 11:00-11:10 シャジクモームイオシンとカルモジュリンの結合
河本政之、○山本啓一 (千葉大・理・生物)
- 098 11:10-11:20 花粉管ミオシンのカルシウムによる制御機構
○横田悦雄、新免輝男 (姫路工大・理・生命)
- 099 11:20-11:30 植物原形質流動におよぼすカフェインの効果
○菊山宗弘、加藤 薫 (放送大・生物)
- 100 11:30-11:40 タバコBY-2細胞における微小管の再構築
○馳澤盛一郎、熊谷 史 (東大・院理・生物)
- 101 11:40-11:50 タマネギ根端の分裂準備微小管帯に局在するcdk2様分子のThr14, Tyr15の脱リン酸化時期の検討
奥島千景¹、横田悦男²、山下正兼³、長濱嘉孝⁴、○峰雪芳宣¹ (¹広島大・理・生物科学, ²姫工大・理・生命, ³北大・理・生物, ⁴基生研・生殖)
- 102 11:50-12:00 cdk5によるタウのSer202とThr205のリン酸化は微小管によって促進され、微小管重合核形成を阻害する
和田恭高¹、石黒幸一²、伊藤知彦³、内田庸子²、宝谷紘一³、細井智子¹、岸本健雄¹、○久永真市¹ (¹東工大・生命理工, ²三菱化学・生命研, ³名大・理・分子生物)

12:00-13:00 昼食

- 103 13:00-13:10 分裂期のHela細胞に特異的に反応するモノクローナル抗体 (MH1, MH2) の作製
○大久保昌明¹、内村 嵩¹、細谷夏実²、西方敬人³、細谷浩史¹ (¹広島大・理・原生生物, ²大妻女子大・社会情報, ³甲南大・理・生物)
- 104 13:10-13:20 *Xenopus* 卵割溝収縮誘起因子の性質とその部分精製
勝賢二郎、○久保田洋 (京大・院理・生物科学)
- 105 13:20-13:30 単離した巨大スバズモネームの張力 v.s. pCa特性
○森山泰誉、岡本裕之、浅井 博 (早大・理工・物理)
- 106 13:30-13:40 ツリガネムシのCa²⁺transientについて
○加藤 薫、菊山宗弘 (放送大・生物)
- 107 13:40-13:50 in vitroでのチューブリン重合および細胞内微小管に対するタキソイドの効果
室伏 擴 (東大・院理・生物化学)
- 108 13:50-14:00 繊毛軸糸を構成するチューブリンのmicroheterogeneityとその意義について
中村 健一 (広島女子大・生活科学・健康科学)
- 109 14:00-14:10 精子軸索へのモノクローナル抗チューブリン抗体の結合と鞭毛運動阻害
○岡美佳子¹、中島陽子²、小比賀正敬²、新井隆雄³、中山雪麿¹、浜口幸久⁴ (¹共薬大, ²慶応大, ³東理大, ⁴東工大)
- 110 14:10-14:20 ウニ精子鞭毛打運動の β チューブリンC端フラグメントによる阻害効果
○上村慎治¹、Bernhard Trinczek² (¹東大・教養・生物, ²Max-Planck-Inst., Hamburg)

- 111 14:20-14:30 ウニ精子の外腕ダイニン成分 α および β /IC1の軸糸への再結合
○毛利秀雄¹、入江美代子²、稲葉一男³ (1基生研、2放送大、3東大・理・臨海)
- 112 14:30-14:40 クラミドモナスダイニン外腕サブユニットによる微小管の滑り運動
○榎原斉、中山治人 (通総研)
- 113 14:40-14:50 *Chlamydomonas*ダイニン内腕欠失変異株におけるアクチンの異常
○加藤高子、広野雅文、神谷 律 (東大・院理・生物)
- 114 14:50-15:00 繊毛軸系タンパクのcAMP依存のリン酸化に及ぼすグリセロールの効果
野口宗憲 (富山大・理・生物圏)
- 115 15:00-15:10 鞭毛運動を規範とした液中微小推進機構
○小林俊一、森川裕久、平井利博、柴崎佳秋 (信州大・繊維)
- 116 15:10-15:20 ディディニウムモデルの繊毛運動
○岩楯好昭、浅井 博 (早大・理工・物理)
- 117 15:20-15:30 繊毛打周期のゆらぎの調節
○三宅桃子、最上善広、馬場昭次 (お茶大・理・生物)
- 118 15:30-15:40 Hyperactivated sperm motility.
○妹玉明、奥野誠 (東大・教養・生物)
- 119 15:40-15:50 マウスの社会的順位と精子運動活性との相関
○小山幸子、上村慎治、谷知己、妹玉明 (東大・教養・生物)